

# 旅館美保館本館

[登録日]令和3年3月22日

松江市美保関町美保関573番地

青石畳通り側 外観



- ◆ 建築年代：明治41年（1908）  
（大正12年（1923）増築・昭和9年（1934）増築  
・平成14年（2002）増築）

- ◆ 構造：木造 地上3階地下1階建て

■ 概要

旅館美保館本館は、青石畳通り沿いに位置する老舗和風旅館です。所有者の定秀家は、江戸時代には北前船との取引を行い、廻船問屋として栄えてきました。明治38年（1905）からは、旅館業を営み、明治41年（1908）に本建物の青石畳通りに面する部分を建築、大正期に海岸側に立つ部分を建築し、その後昭和初期の増築などを経て、現在も旅館や迎賓会場として営業を続けています。

海岸側 外観



青石畳通り側の部分と海岸側の部分の間には、光が差し込む大きな吹抜け空間があります。全体的に繊細な数寄屋風で、窓・欄間・手摺など各所に趣向が凝らされ、特に玄関の唐破風は客人の目を引きまします。

明治後期から昭和初期の旅館建築の面影を伝えるとともに、美保神社への参拝などで多くの要人、文人墨客が逗留するなど美保関の歴史を語る上でも貴重な建物です。

玄関入口【唐破風】外観



まきと  
ひじき  
肘木  
だいと  
大斗



かえるまた  
墓股

位置図



【市登録歴史的建造物】  
旅館美保館本館